

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 29 年 8 月 22 日	担当部署	産業観光部 観光振興課施設経営管理室
-------	------------------	------	--------------------

※以下は平成 29 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	株式会社 みなもとの郷				
代表者名	代表取締役 内藤 潔				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2				
設立年月日	平成 12 年 2 月 9 日	資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の産業振興を目的に、市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。				

3 組織

(単位：人)

		理事・取締役	監事・監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1			
	非常勤	6	1	7				7
	計	7	1	8	1			7
職員	正職員	—	—	4	4			
	臨時職員	—	—	7	7			
	パート職員等	—	—	9	9			
	計	—	—	20	20			

4 主な事業

(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営
(2) 吉川緑地等利用施設の管理運営
(3) 吉川地域バス運行事業の運行業務委託
(4) 吉川観光協会の事務受託
(5) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託
(6)
(7)

5 事業実績（概要）

【第 18 期（平成 28 年度）の経営状況】

- ・ 第 18 期の営業収益（売上高）は、前期との比較で 226 千円増（0.5%の増）の 46,565 千円となりました。前期から宿泊部門の売上が減少したものの、自主イベントの開催やホームページ等によるPR活動に取り組んだことにより、宴会や体験学習等の利用が促進され、営業収益の増加に繋がりました。
- ・ 営業費用は、前期との比較で 287 千円減（0.6%の減）の 46,595 千円となりました。このうち、売上原価では材料価格の値上がり等により、前期との比較で 426 千円増加した一方、一般管理費・販売費では経費の削減に努めたことにより、前期との比較で 713 千円減少することができました。
- ・ この結果、前期との比較で 506 千円の損益改善が図られたものの、最終的な当期純利益は、△36 千円となりました。これにより、2 期連続の赤字決算となり、当期末において 33 千円の累積欠損金を抱えることとなりました。

【取組内容】

- ・ 尾神地区の自然や歴史、文化を活かした誘客活動と都市交流事業を推進
- ・ 上越市域、柏崎市域を視野に入れた体験事業の拡充
- ・ 地産地消を心掛けた料理の提供等によるサービスの向上

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド及び吉川緑地等利用施設

（単位：人）

		平成 26 年度 (第 16 期)		平成 27 年度 (第 17 期)		平成 28 年度 (第 18 期)		
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	
吉川 スカイトピア 遊ランド	宿泊	1,500	1,450	1,600	1,907	1,460	1,713	
	休憩	4,000	4,307	4,000	4,652	4,300	4,806	
	体験交流 センター	入館者	2,100	2,326	2,100	2,444	2,400	2,507
		体験者	1,000	636	1,000	642	640	748
	小計	8,600	8,719	8,700	9,645	8,800	9,774	
吉川緑地等 利用施設	見はらし荘	800	1,282	800	715	980	888	
	スポーツスライド	800	854	800	819	700	1,149	
	キャンプ場	20	31	20	25	20	34	
	小計	1,620	2,167	1,620	1,559	1,700	2,071	
合計		10,220	10,886	10,320	11,204	10,500	11,845	

- ・ 施設利用者数のうち、吉川スカイトピア遊ランドは、前期と比較して 129 人増（1.3%の増）の 9,774 人となり、緑地等利用施設は、前期と比較して 512 人増（32.8%の増）の 2,071 人となりました。全体では、前期と比較して 641 人増（5.7%の増）の 11,845 人となりました。

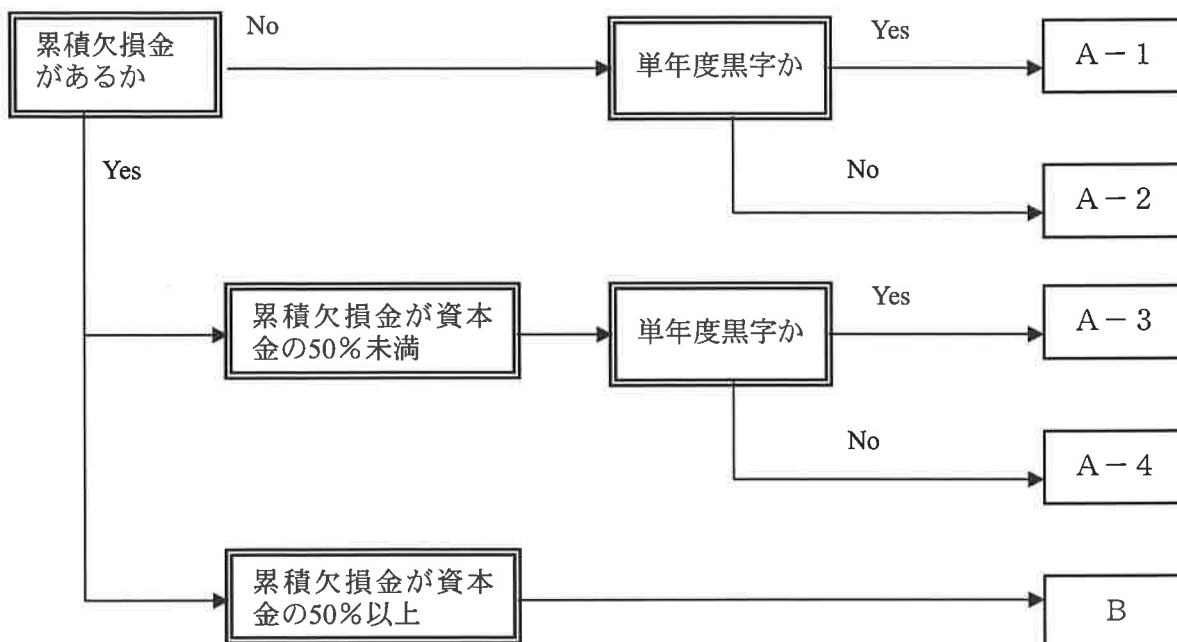
6 財務状況

(単位：千円)

項 目		平成 26 年度 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日	平成 27 年度 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	平成 28 年度 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	備 考
損益計算書	営業収益（売上高）	42,968	46,339	46,565	
	営業費用	42,898	46,882	46,595	
	売上原価	9,436	10,996	11,422	
	一般管理費・販売費	33,642	35,886	35,173	
	営業利益	70	△543	△30	
	営業外収益	62	71	64	
	営業外費用	35	0	0	
	経常利益	97	△543	34	
	特別利益	0	71	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期純利益	97	△472	34	
	法人税等	90	70	70	
	当期純利益	7	△542	△36	
項 目		平成 27 年 3 月 31 日現在	平成 28 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在	備 考
貸借対照表	資 産	12,586	13,009	12,299	
	負 債	2,041	3,006	2,332	
	純資産	10,545	10,003	9,967	
	資本金	10,000	10,000	10,000	
	剰余金・欠損金	545	3	△33	
その他	0	0	0		

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-4
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

平成28年度（第18期）において、36千円の当期純損失を計上し、累積欠損金を抱えたことから、経営状況の予備的診断は、前期のA-2から、当期はA-4になりました。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド 指定管理委託料	3,832	2,533	2,533	
②	吉川緑地等利用施設 指定管理委託料	1,942	1,942	1,960	
③	吉川地域バス運行業務委託料	5,081	4,996	4,648	
計		10,855	9,471	9,141	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（補填金）	142	152	190	シニアバスポート減免補填分
計		142	152	190	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

【事業計画】

平成 29 年度は（第 19 期）は、売上高 44,200 千円、営業利益の黒字化を目標に掲げ、次の取組を強化し施設の利用促進を図る。

- ① 越後田舎体験事業の積極的な取組みや農業オーナー制度等の自主事業の拡充、スカイスポーツ大会の振興等による相乗効果により施設の利用促進を図る。
- ② 地域におけるイベントなどへの積極的な参加や企画を行い、イベント参加者から宿泊・食事・入浴等で施設を利用していただくなど、より一層の誘客に努める。
- ③ サービスの充実とパンフレットやホームページにより営業活動の強化に取り組む。
- ④ パラグライダー体験を拡充し、スカイスポーツの振興を通じて地域の魅力を発信する。
- ⑤ 尾神岳ファンクラブ等の観光関係団体等との連携を一層深め、誘客や地域活性化を図る。

【集客目標】

(単位：人)

吉川スカイトピア遊ランド				吉川緑地等利用施設			合計
宿泊	休憩	体験交流センター		見はらし荘	スポーツ スライド	キャンプ場	
		入館者	体験者				
1,510	4,350	2,450	690	1,030	800	20	10,850

(2) 中長期経営計画

なし

報告事項 第18期営業報告について

第18期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当社は、上越市吉川区尾神岳エリアの観光関連施設としてのスカイトピア遊ランド、緑地等利用施設の管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務や尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会や顕法寺城址で狼煙を上げる会、水源地域振興対策協議会、尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊などの各事務局を受託するなどして、広く地域の諸課題に対応しつつ各種事業等を積極的に展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化を図ることを重点目標とした経営に努めています。

しかしながら、その経営は中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多いという条件等からして、かつてはスカイスポーツ基地としての尾神岳観光エリアへの入込客に頼っていたものの、当エリアへの入込客の減少や地域の過疎化・人口の高齢化が進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら、経営の立て直しを図るために、役職員一丸となった営業努力と経費削減に努め、徐々に経営改善を図りつつ安定経営を目指して進めてきています。

そのために、スカイスポーツの愛好者が減少してきている状況を鑑み、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化に着目し、これらを活かしながらの誘客活動と都市交流事業等の推進を図ってきた底力やHP等を活用してPRを続けてきた成果が少しずつ現われてきているものと感じています。

また、吉川区のみならず合併後の市域全域に加え隣接する柏崎市域を視野に入れながらの誘客や体験事業の拡充に加え、地産池消に心掛けた料理の提供、各種サービスの向上を目指して進めてきた成果による結果、リピーター率が着実に向上してきているためと考えています。

- (2) 取締役会の開催状況につきましては、現段階では課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、定期的開催は行わないこととしています。

また、特に急を要する場合等は持ち回り協議等に対応させていただいております。昨年の株式総会以降は、5月27日、8月18日、12月26日、6月12日と4回開催いたしました。

- (3) ① 今期（平成 28 年度）の営業収益（売上高）は、46,565 千円であり、前期営業収益（売上高）との比較で 226 千円の増（0.5%の増）と、わずかではあります但し伸ばすことができ、年度当初に計画しお示した数値（43,500 千円）を大幅に上回ったものとなりました。
- ② 営業費用は、人件費や燃料費等の切りつめに努めてきたものの、消費税の重圧感に加えサービス低下とならないようにとの思いから食料費が 861 千円増加してしまい、46,594 千円と営業収益（売上高）を若干上回る結果となってしまいました。
- ③ 当期は、経常利益が 33 千円となったものの、結果として税引後の当期純損失額が 36 千円生じたものとなってしまいました。

決算報告書

(第18期)

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

株みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野1458

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日現在

単位 円

	資 産 の 部	
【流動資産】		
現金及び預金	4,708,851	
売掛金	944,780	
商品	1,863,628	
未収金	413,208	
	流動資産合計	7,930,467
【固定資産】		
(有形固定資産)		
建物	3,435,334	
建物附属設備	26,295	
機械装置	379,125	
車両運搬具	1	
工具・器具・備品	38,075	
構築物	215,191	
	有形固定資産合計	4,094,021
(投資その他の資産)		
出資金	1,000	
	投資その他の資産合計	1,000
	固定資産合計	4,095,021
【繰延資産】		
開業費	273,220	
	繰延資産合計	273,220
	資産の部合計	12,298,708
	負 債 の 部	
【流動負債】		
買掛金	26,600	
未払費用	1,459,270	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	646,500	
預り金	129,570	
	流動負債合計	2,331,940
	負債の部合計	2,331,940
	純 資 産 の 部	
【株主資本】		
(資本金)		
資本金	10,000,000	
	資本金合計	10,000,000
(利益剰余金)		

繰越利益剰余金

	433,232	
利益剰余金合計	<u>433,232</u>	
株主資本合計		<u>9,966,768</u>
純資産の部合計		<u>9,966,768</u>
負債及び純資産の部合計		<u>12,298,708</u>

損 益 計 算 書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

単位 円

【 純 売 上 高 】		
売上1 (遊ランド)	40,909,690	
売上2 (見晴し・ホプスル)	1,007,555	
売上3 (地域バス)	4,648,075	46,565,320
【 売 上 原 価 】		
期首商品棚卸高	1,485,662	
仕入1 (一般)	11,606,914	
仕入2 (タバコ等)	193,251	
合 計	<u>13,285,827</u>	
期末商品棚卸高	1,863,628	11,422,199
売 上 総 利 益		<u>35,143,121</u>
【販売費及び一般管理費】		35,172,767
営 業 損 失		<u>29,646</u>
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	45	
雑 収 入	63,490	63,535
経 常 利 益		<u>33,889</u>
税引前当期純利益		33,889
法人税、住民税及び事業税		70,000
当 期 純 損 失		<u>36,111</u>

販売費及び一般管理費

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

単位 円

賃	運	賃	金		20,414
給	与	貨	費		22,659,432
法	定	福	利	費	1,513,117
福	利	厚	生	費	474,387
租	税	公	課		1,310,084
水	道	光	熱	費	3,680,431
通		信		費	530,915
広	告	宣	伝	費	133,552
接	待	交	際	費	63,400
損	害	保	険	料	46,900
修		繕		費	257,262
消	耗	品		費	928,028
減	価	償	却	費	476,665
支	払	手	数	料	530,948
車		両		費	1,320,859
リ	一	ス		料	98,440
諸	会			費	106,740
設	備	保	守		318,724
環	境	衛	生	費	602,881
雑				費	99,588

販売費及び一般管理費

35,172,767

株主資本等変動計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

単位 円

	株主資本 利益剰余金			株主資本合計	純資産合計
	資本金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000,000	2,879	2,879	10,002,879	10,002,879
当期変動額					
当期純損益金		△36,111	△36,111	△36,111	△36,111
当期変動額合計		△36,111	△36,111	△36,111	△36,111
当期末残高	10,000,000	△33,232	△33,232	9,966,768	9,966,768

個 別 注 記 表

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

 たな卸資産の評価基準及び評価方法

 最終仕入原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

 定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。

会計処理の原則又は手続の変更

 消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

7,504,154円

監査報告書

第18期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成29年6月12日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人 

その他 第19期事業計画について

第19期 事業計画

株式会社 みなもとの郷

当社の経営は、中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら経営の立て直しを図るため、役職員の協力のもと営業努力と経費削減に努めることとしています。

このため、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化の伝統を活かしながら一層の誘客活動に努め、都市交流事業の更なる推進を図り、収入の増加につなげていきます。

また、地域バスの運行業務や吉川観光協会の事務、尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務を受託するなど、一方ではスカイトピア遊ランドが市の指定避難所を兼ねた指定緊急避難場所として指定されていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上にも貢献してまいります。

歴史的な東日本大震災以降の不況感や平成26年4月からの消費税率アップの影響に加え、今後更なる消費税率アップが予想されることや主たる産業の地域農業の先行き不安等を考えると、当地の観光産業には一層厳しさが増すものと思われます。

当社としては、こうした影響等についても充分配意しつつ、一方では、積極的な取り組みが必要であると考えています。具体的には、次のような事業等を展開しながら雇用の拡大と健全経営に努め、吉川区内における地域産業の重要拠点の一つとしての確立を目指してまいります。

(1) 各種交流事業の展開

棚田オーナー事業やそばオーナー事業を継続するとともに、新しい取り組みなどについても検討を重ねる。また、市や諸団体等が行う交流事業や体験事業の拠点施設としての自覚を持ち、市並びに諸団体や地域の皆さんと連携しながら積極的に事業参画し、誘客に結びつけていきます。

(2) スカイスports基地との共生

尾神岳は、スカイスports基地のメッカとして知られ、新潟県知事杯や上越市長杯、吉川観光協会長杯、スチューデントカップなどのパラグライダー大会が毎年開催されてきています。尾神岳スカイスportsエリアの振興を図りつつ、全国各地から集まるスカイスports愛好者を介したPR等による誘客にも努めていきます。

また本年は、春と秋に開催される上越市長杯と新潟県知事杯のパラグライダー大会では上越市地域活動支援事業による「販創出事業」が計画されているため、その相乗効果を期待するとともに、フライヤーの育成やパラグライダーの初心者体験、観光フライトの推進にも協力していきます。

(3) 農業体験や各種体験事業の展開

農業体験はもちろんのこと、そば打ち、おやき、ちまき、アイスクリーム、米粉ピザなどの食体験や草木染め、竹細工、わら細工、あけびのつる細工、木工細工、自然観察など各種体験事業のさらなる拡充と積極的な取り組みを推進していきます。

また、引き続き越後田舎体験関係事業にも積極的にかかわり、地域との連携を深めながら誘客に結び付けていきます。

特に、吉川ならではの「パラグライダー初心者体験」を越後田舎体験事業の一環としてメニュー化を推進し、誘客に努めていきます。

(4) 各種イベント等の取り組み

市並びに各種団体の企画された事業やイベント等に積極的に参加するとともに、通年誘客の一環として独自のイベントなども開催する。

春は「山菜祭り」や「山菜採りツアー」、夏は「焼き肉大会」、秋は「新そば祭り」、冬は「雪祭り」、その他、分館単位の高齢者を対象とした「ふれあいお楽しみ会」、「冬季限定料理メニュー特別企画コース（1月～3月間）」「よしかわ杜氏の郷の新酒を楽しむ会」などの各種イベントを積極的に取り組んで参ります。

また、団塊の世代の退職者を対象にした各種イベント等の取り組みを検討し実施していきます。

(5) 経営の改善について

- ① 職員の研修機会を増やし、接客サービスの拡充等に努めていきます。
- ② 資材・食材等の仕入れの点検を日常的に行い仕入ロスの減少に努め、節電・節水等にも極力対応していきます。

(6) 施設の改修・修繕等について

入館者の安全と利便性等を確保するために、玄関の自動ドア改修や電話回線の改修、冷暖房設備等の修繕について引き続き市と協議し進めていきます。

また、施設の運営上欠かすことのできない除雪機や草刈機等については、これまでは止むなく当社で対応してきているものの、引き続き市の対応をお願いしていきます。

(7) その他の取り組み

- ① 休憩に訪れる日帰り客へのサービス向上のため、昼食メニュー等の更なる拡充を図っていきます。
- ② 地域との連携により、地場産品や特産品、山菜などの「お土産」や売店業務を拡充していきます。
- ③ 特徴ある食材や地場産品の確保に努め、お客様のニーズをつかみながら地域料理（田舎料理・薬膳料理等）を主体に提供していきます。
- ④ 尾神岳を訪れてくれる人達が、ゆっくりと自然に親しむことができるような森林空間として「遊歩道」や「山頂広場」「探索の森」「遊休地活用型園地・小動物園」の整備などを継続して進めていきます。
- ⑤ 越後田舎体験事業や各種オーナー事業を進める上で、農地問題や農業の担い手不足等の地域課題が多く見受けられます。また、遊ランド周辺の農地の荒廃が急速化するなど、環境問題なども含め体験型の観光農場の整備等についても、地域の皆さんから協力していただきながら進めていきます。
- ⑥ IT化社会に対応するため、ホームページや各種PRサイト等を有効に活用し、より一層の誘客活動に努めていきます。
- ⑦ お風呂に鉱泉を利用した温泉サービスの試行を続け、地域資源の活用を図りながら健全経営に結び付けていきます。

- ⑧ 観光関係団体等（尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊、よしかわ里山クラブ、尾神岳エリア委員会等）との連携を一層深め、誘客につなげ地域の活性化にも結びつけていきます。
- ⑨ 地元の吉川ゲートボール協会の協力により、一昨年（2019年）の10月から始めた「遊ランド杯ゲートボール大会」を年間行事として一層定着させ、誘客に結びつけていきます。
- ⑩ 道の駅よしかわ杜氏の郷のブースを、アンテナショップ等として活用を図りながら収入の増加につなげるように努めていきます。

（8）今後のテーマ

- ① 当社では、その経営状態からして役職員の待遇等については劣悪な状況を余儀なくされてきています。今後は、こうした面での改善も図りながら地域雇用の安定化を進めていくことをテーマとしていきます。
- ② 当社の今後の有り方等を充分検証しつつ、Jホールディングス(株)との協議・研修等を重ね、参入の方向性を視野に入れながら引き続き検討していきます。

第19期 収支計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(収入の部)

単位:千円

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
利用料金	30,000	29,500	500	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スライダー等の利用料金
受託料	9,471	9,471	0	指定管理者受託料
雑収入	4,729	4,527	202	売店、自動販売機売上、自主事業収入
合計	44,200	43,498	702	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
給料賃金	21,000	20,500	500	
法定福利費	1,000	900	100	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	290	200	90	通勤手当、職員研修費
租税公課	1,200	1,000	200	法人税・住民税・消費税
諸会費	100	100	0	商工会費、食品衛生会費
仕入	10,500	10,260	240	
水道光熱費	4,200	4,750	-550	水道、電気、ガス代
旅費交通費	30	30	0	
通信費	500	470	30	電話代、切手代等
広告宣伝費	150	180	-30	広告掲載料、HP作成費等
接待交際費	50	50	0	
損害保険料	50	100	-50	火災保険、食中毒保険
修繕費	200	200	0	設備修繕料
消耗品費	800	800	0	消耗品等
減価償却費	450	400	50	
車両掛費	1,200	1,200	0	車燃料代等
支払手数料	1,200	1,200	0	記帳指導料等
環境衛生費	600	600	0	
設備保守料	330	280	50	浄化槽、消防設備等
賃借料	100	100	0	車両、設備リース
雑費	150	100	50	除雪費、テレビ受信料他
予備費	100	80	20	
合計	44,200	43,500	700	